

経営概要書

法人名：

株式会社 秋田ふるさと村

(株 3)

代表者職氏名	代表取締役 加藤 清美
所在地	横手市赤坂字富ヶ沢62-46

所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
設立年月日	平成5年5月18日

【沿革及び県の出資理由】

本県の文化遺産の継承、新たな郷土文化創造拠点として、また新たな観光拠点として、この二つの機能を十分に活かし相乗効果による県民文化の向上と地域産業の振興を図ることを目的に県等の出資により設立。

【出資者】 (H26年度当初)

(単位:千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	250,000	50.5%
市町村	4	69,000	13.9%
その他	27	176,000	35.6%
計	32	495,000	100.0%

【事業】

①主たる業務

秋田県ふるさと村の管理運営

②事業実績

(単位:人)

事業名等	H23年度	H24年度	H25年度
入村者数	760,929	620,212	583,948
スノーホワイト城	135,275	119,479	117,307
かまくらシアター	47,604	36,295	31,989

③H25年度事業概要及びH26年度事業計画・目標

(H25年度事業概要) ①開催するイベントの数を増やすとともにテナントとの共催事業を実施するなどして、利用者の獲得を図った。②横手コンベンション協会の設立を契機に、各種大会の誘致に取り組んだ。③26年度に開村20周年を迎えるに当たり、老朽化した設備やホームページの更新などを行った。④星空探検館スペースシアのリニューアル工事を秋田県と連携して実施した。

(H26年度事業計画・目標) ①「ザ・スマイルイヤー」を合言葉に20周年記念事業に取り組む。②イベント事業は他施設との差別化を図り、外部との連携などにより総合力を高める。③星空探検館スペースシアのリニューアル効果を活かして、新たな客層とリピーターの獲得を目指す。④ホームページを広告戦略のホスト媒体として、SNS機能を活用して戦略的な情報提供を行う。

【組織】

①役員数(H26.7.1現在)

(単位:人)

区分	取締役		監査役	
	H25	H26	H25	H26
常勤	2	2		
内、県退職者	2	2		
内、県職員				
非常勤	7	7	1	1
内、県退職者				
内、県職員	1	1		
計	9	9	1	1
内、県関係者	3	3		

②職員数(H26.4.1現在)

(単位:人)

区分	H25	H26	正職員 平均年齢 41.1歳	正職員 平均勤続年数 11.9年
正職員	20	21		
内、県退職者				
出向職員				
内、県職員				
臨時・嘱託	11	11		
内、県退職者				
計	31	32		
内、県関係者				

役員報酬支給対象者数(H25年度)	3人
役員報酬支給対象者平均年齢	65.3歳
平均役員報酬額(H25年度)	2,287千円/年

【財務】

①損益計算書

(単位:千円)

区分	平成24年度	平成25年度
売上高	493,058	513,995
売上原価	282,615	300,597
売上総利益	210,443	213,398
販売費及び一般管理費	189,734	206,479
人件費(売上原価含む)	103,353	109,631
営業利益(損失)	20,709	6,919
営業外収益	2,629	2,215
営業外費用	37	468
経常利益(損失)	23,301	8,666
特別利益	3,028	3,310
特別損失	26	440
法人税、住民税・事業税	10,708	6,239
当期純利益(損失)	15,595	5,297

②貸借対照表

(単位:千円)

区分	平成24年度	平成25年度
流動資産	530,185	534,418
固定資産	114,693	122,624
資産計	644,878	657,042
流動負債	76,828	81,239
短期借入金		
固定負債	14,010	16,466
長期借入金		
負債計	90,838	97,705
資本金	495,000	495,000
利益剰余金等	59,040	64,337
純資産計	554,040	559,337
負債・純資産計	644,878	657,042

退職給与引当状況	(単位:千円)		
	要支給額	引当額	引当率(%)
	16,466	16,466	100.0%

区分	平成24年度	平成25年度
県の貸付金残高	—	—
県の損失補償残高	—	—
県の債務保証残高	—	—

【県の財政支出】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	1,000	1,000	1,000	少子化対策応援ファンド事業
委託費	72,480	71,889	82,489	近代美術館維持管理等業務委託、地域の魅力発信事業、屋外遊具設置事業
指定管理料	156,068	156,068	156,068	秋田県ふるさと村指定管理料
貸付金				

1 主な経営指標

項目		単位	H23年度	H24年度	H25年度	H23-24増減	H24-25増減
健全性	自己資本比率	%	84.42	85.91	85.13	1.49	△ 0.78
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	608.94	690.09	657.83	81.15	△ 32.26
収益性	剰余金（△欠損金）	千円	43,445	59,040	64,337	15,595	5,297
	経常利益率	%	6.56	4.70	1.68	△ 1.86	△ 3.02
	総資本利益率	%	5.19	3.61	1.32	△ 1.58	△ 2.29
効率性	総資本回転率		0.79	0.77	0.79	△ 0.02	0.02
	職員1人当たり経常収入額	千円	15,786	15,490	16,652	△ 296	1,162
	人件費比率	%	20.33	20.50	21.24	0.17	0.74

2 経営目標の達成状況

経営目標		区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
指 経営改善目標	当期純利益（千円）	目標	9,499	13,954	11,299	13,400
		実績	21,147	15,595	5,297	
	売上高人件費率（%）	目標	20.2	20.5	21.8	21.1
		実績	20.3	20.6	21.0	
指 事業成果	自主事業収入（千円）	目標	254,570	282,121	286,471	280,000
		実績	273,242	264,101	274,438	
	入村者数（人）	目標	580,000	730,000	680,000	630,000
		実績	760,929	620,212	583,948	
顧客満足度指数		目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成25年度の利用者は平成11年度の入村フリー化以降初めて60万人を割り込み、その影響を受けて減収減益という大変厳しい結果であった。高速道路の割引制度縮小やガソリン価格の高騰などにより、ここ数年、利用者の減少傾向が続いていることから、これに歯止めをかける取組を工夫して、事業の継続と収益の確保を図っていかねばならない。物販と料飲はテナントがサービス提供し、集客と施設の維持管理を当社が担うこととして、相互に役割分担している現在のビジネスモデルを再構築しながら、事業ノウハウの空洞化や外部環境への適応能力の減退、対外的に評価されて選ばれるための魅力づくりをどのようにするかなどの検討が必要となっている。

＜顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組＞

「営業時間が分かりにくい」との意見から、道路案内看板を刷新した。「煙草の煙が気になる」との意見から、館内喫煙場所を変更した。「フードコートのテーブルが汚い」との意見から、テナント各店で台ふきんを準備して対応することとした等。

＜H25年度経営評価指摘事項（早期の改善が望まれる事項）＞

指摘事項：なし

措置状況：

4 総合評価（計算書類等の資料による評価）

A 概ね良好	B 改善の余地あり	C 改善措置が必要
<p>・ 県からの受託業務収入の増加等により、売上高は前年度に比して20,937千円増加した。また、これに伴う事業経費の増加により、営業費用（売上原価・販売費及び一般管理費）は前年度に比して34,727千円増加した。よって、営業利益は前年度比13,790千円減少の6,919千円となった。経常利益は前年度比14,635千円減少の8,666千円、当期純利益は10,298千円減少の5,297千円となった。</p> <p>・ 利益剰余金等は64,337千円と期間損益の水準に比して十分であり、財務基盤は安定している。</p> <p>・ 経営改善指標については当期純利益は目標に達しなかったものの「売上高人件費率」は目標水準を確保している。事業成果指標については「自主事業収入」は概ね目標水準を確保しているものの、「入村者数」は減少傾向が続いており目標に達していない。</p>		